

令和8年5月12日
文教・福祉常任委員会資料
教育部博物館管理課

土佐光則筆「源氏物語画帖」の寄贈について

任天堂株式会社様より、宇治市に土佐光則筆「源氏物語画帖」の寄贈がありましたので、報告いたします。

記

1 寄贈申し出者

任天堂株式会社 代表取締役社長 古川俊太郎様
(京都市南区上鳥羽鉾立町11番地1)

2 寄贈の内容

土佐光則筆 源氏物語画帖 一帖

3 寄贈の目的

宇治市源氏物語ミュージアムにおいて活用するため

4 受納日

令和8年3月5日

5 今後の予定

令和10年の源氏物語ミュージアム開館30周年に向けて、調査、研究を行い、その結果とともに展示する予定です。

「源氏物語画帖」(一帖、絵・詞各五十四面、各13.9×13.5cm)

『源氏物語』54帖の各帖について一画面が描かれ、詞書が添えられる。上部に詞書、下部に画面が貼付された縦長の形式。成立時期は、1620年代後半から1640年代の初めとする説があるが、その妥当性についてはより詳細な検討が必要とされている。近年では、東京富士美術館(2024年)、和泉市久保惣記念美術館(2018年)、京都府京都文化博物館(2008年)などで展示された。

特徴

小さい画面に小ぶりな人物を整然と描きこみ、庭の描写もふくめてすっきりと計算された画面構成が独特の画風

土佐光則(1583~1638 とさみつのり)

江戸時代初期の絵師。小型の色紙に着色や白描で緻密に描いた源氏絵を多く残し、徳川美術館、石山寺、和泉市久保惣記念美術館、東京国立博物館、アメリカのメトロポリタン美術館、フリア美術館に作品が残っている。また、源氏物語ミュージアムが所蔵する「源氏絵鑑帖」も伝土佐光則筆とされている。



表紙



巻45 橋姫